

# 厚生

## 常任委員会

厚生常任委員会委員長

小山 晓

厚生常任委員会は、9月14日の午前中に健康福祉課一般会計の子ども家庭係と福祉係、障害福祉係、保健予防係の4係の決算審査を行い、引き続き午後からは、特別会計の介護保険と特別養護老人ホーム及び町立病院の3つの事業会計を審査しました。

一般会計の民生費の歳出決算総額は13億9、556万3千円で、目的別歳出額では、トッピとなつていて。又、衛生費の歳出決算額は7億5、623万252円で、健康福祉課一般会計歳出総額は21億5、179万3千円となつていて。民生費の対前年度比は8.2%・衛生費が6.7%それぞれ伸びており、金額にして1億5、389万3千円の増と

なっている。子ども家庭係関係では、公立神尾保育園の決算額は6、380万710円で、執行額の主なものに、備品購入費として大型遊具購入495万8、038円、私立保育所運営負担金1億7、345万2、660円、公立保育所（広域入所分）運営負担金45万2、380円がそれぞれ執行されており、平成21年度町が負担した保育所運営費の総額は9、235万5、273円となつていて。

又、町保育料の収納総額は73円となつていて、又、町保育料の収納率は98・19%となつていて。なお、未納件数は12件、世帯数は10世帯の13万3、250円が未納額として上がっている。ただし、過年度分の

滞納額を合わせると143万円が保育料未納額となつていて。次に手当事業関係では、児童手当受給者が602人で、総支給額は6、885万5千円で、すべて国・県の負担額となつていて。出生手当支給事業では、第3子10万円が13件、第4子20万円が3件、第5子以降30万円が1件の全部で17件の支給総額は220万円となつていて。

次に、社会福祉費の歳出決算額は10億130万7、710円で、主なものに扶助費の2億485万4、997円と負担金補助金交付金の3、729万3、115円等が主なものである。

老人福祉費関係では2億9、669万1、813円が歳出決算額として上がつていてが、主な事業費として、老人クラブ育成補助金やシルバー人材センター補助金481万1、500円、ご長寿応援商品券事業費1、948万5、500円等である。

障害福祉係では、障害者に

対して、介護給付等のサービス支給や医療費の助成、或いは補装具や日常生活用具の支給等に約2億900万円の事業費が投入されており、障害者の経済的な負担軽減や自立した地域生活の実現に努力している。保健予防係では、町民の健康の保持増進を図るために各種の健診事業を中心に行われたり、集中徹底して行われている。

保健予防係では、新型インフルエンザ予防緊急対策として、新型インフルエンザ予防接種や感染防御用マスク1万枚と防御服300セットを揃えた。万全の体制強化が図られている。

次に特別養護老人ホーム事業会計の歳入・歳出決算状況では、歳入決算が5億5、972万4、254円で、歳出決算は4億7、135万2,405円で歳入歳出差引残額は8、837万1、849円となつていて。施設の利用状況は、長期利用者が3万9、710人、短期利用者が2、563人、デイサービス利用者が4、151人の合計4万6、420人となつていて。



神尾保育園に新設された大型遊具